

平成22年度

# ”釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ” 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄					2011/3/31		
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり<知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり<知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	①まちを知る・人を知る	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan, Home Sweet Home, caffè kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●スタンラリー実施: 平成22年8月1日～10月31日 ●カフェミーティング実施: 平成22年4月21日・7月14日・12月7日	30人	A - 1	○ルート内4箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年3回のカフェミーティングを実施し、3エリア4箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。
			2	沿道花壇への植栽	阿寒町花いっぱい運動推進協議会、阿寒湖温泉連合町内会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり機構、弟子屈町自治会連合会、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、中標津町商工会女性部、標茶町虹別市街町内会	平成22年6月(各団体個別実施)	1433人		○ルート内9団体が、居住地域の沿道へ植栽を行った。ルートHPでの活動状況の更新などを行い、活動のPRも併せて実施した。
			3	ルートHPの更新	情報広報部会	通年(随時)	地域ライター37人・年間約4000アクセス	A - 2	○地域住民がプログライターとなって旬な観光情報の発信を行った。各プログライターが、個人の趣味や職域を活かした記事を更新している。HPアクセス数が減少傾向にあることから、検討が必要。
	②自然環境を知る・活かす		4	既存植樹活動への協力	虹別コロカミイ会	平成22年5月16日	400人(ルート参加15人)		○ルート内で実施された既存植樹活動への協力を行った。
			5	弟子屈飛行場跡地での森づくり	景観まちづくり部会(Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクト)	平成22年10月17日	21人	A - 3	○弟子屈飛行場跡地での森づくり活動をH22年度より開始し、シーニックの森制度でのカーボオフセットの森づくりだけではなく、飛行場跡地の自然再生の森づくりも目指している。
	③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす		6	ドライブモニターツアーの実施(冬だけが満喫ツアー)	ルート運営委員会	平成23年3月5日～6日	13人		○ドライブモニターツアーを実施し、ルートとして旅の提案の方向性について検討した。ツアーでは、冬の摩周湖外輪山でのスノーシュー体験を行い、冬ならではの景勝地や景観ポイントの把握に繋がった。
			7	④温泉を知る・活かす	情報拠点シーニックカフェの連携「Pan de Pan」	Pan de Pan	通年	月150人	
	⑤体験活動を知る・活かす		5	弟子屈飛行場跡地での森づくり	景観まちづくり部会(Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクト)	平成22年10月17日	21人	A - 3	○活動メンバーや家族、行政連絡会議のメンバーを対象に、プレ植樹会として、町内でどんぐりやクルミを拾い、種まきを行った。
			6	ドライブモニターツアーの実施(冬だけが満喫ツアー)	ルート運営委員会	平成23年3月5日～6日	13人		○ツアーでは、冬の摩周湖外輪山でのスノーシュー体験や、摩周そば内体験を実施した。
	2) 食を知る・活かす	①地場産品を知る・伝える	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan, Home Sweet Home, caffè kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●スタンラリー実施: 平成22年8月1日～10月31日 ●カフェミーティング実施: 平成22年4月21日・7月14日・12月7日	30人	A - 1	○地場産品を知る・伝えることを目的の一つとした、「シーニックカフェスタンプラリー」を開催し、食のPRに繋げた。
			8	情報拠点シーニックカフェの連携「Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	平成22年4月25日～11月30日	月100人		○弟子屈産の野菜や果実、摩周そばを使ったメニューを販売するなど、地域食材を積極的に使用している。
9			情報拠点シーニックカフェの連携「caffè kaiyodai」	シーニックカフェ「caffè kaiyodai」、中標津町商工会青年部	平成22年4月25日～10月31日	2500人		○中標津町で採取したハチミツを使ったソフトクリームを販売するなど、地域食材を積極的に使用している。	
7			情報拠点シーニックカフェの連携「Pan de Pan」	Pan de Pan	通年	月150人		○地元の野菜や果実を使ったパンやスイーツを販売するなど、地域食材を積極的に使用している。	
10			情報拠点シーニックカフェの連携「gelato siretoco」	シーニックカフェ「gelato siretoco」、中標津町商工会青年部	通年	2000人		○中標津牛乳や近郊の素材を使ったジェラートを販売しており、地域食材を積極的に使用している。	
3) 文化や歴史を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす	11	懐かシーニックパネル展「摩周湖ブルーコンサート」	景観まちづくり部会、弟子屈エリア	平成22年10月22日	150人		○昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真をルート内巡回写真展として展示している。昭和初期の生活や道路状況など、地域の文化を伝えている。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄						2011/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
	②地域の歴史を知る・活かす	11	懐かシーニックパネル展「摩周湖ブルーコンサート」	景観まちづくり部会、弟子屈エリア	平成22年10月22日	150人		○昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真をルート内巡回写真展として展示している。地域の歴史を伝え、活かしている。	
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり<整える・つなぐ>	①沿道景観を整える	12	リレー清掃「中標津奉仕清掃」	中標津町役場	平成22年5月30日	100人 (ルート参加20人)		○中標津町役場が主催する清掃活動に、中標津町商工会青年部を中心に、20名参加した。	
		13	リレー清掃「弟子屈エリア 摩周湖クリーンウォーク2010」	弟子屈町役場	平成22年6月5日	200人 (ルート参加19人)		○弟子屈町役場が主催する清掃活動に、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ポランティアネットワークチャレンジ隊、中標津町商工会など、19名が参加した。	
		2	沿道花壇への植栽	阿寒町花いっぱい運動推進協議会、阿寒湖温泉連合町内会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり機構、弟子屈町自治会連合会、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、中標津町商工会女性部、標茶町虹別市街町内会	平成22年6月(各団体個別実施)	1433人		○ルート内9団体が、居住地域の沿道へ植栽を行った。ルートHPでの活動状況の更新などを行い、活動のPRも併せて実施した。	
		14	阿寒-摩周キング・オブ・クリーンウォーク	クリーンウォーク実行委員会(NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会)	平成22年8月29日	50人		○当該ルート活動団体のNPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会等が共同で主催し、一般国道241号の清掃イベントを実施した。	
		11	懐かシーニックパネル展「摩周湖ブルーコンサート」	景観まちづくり部会、弟子屈エリア	平成22年10月22日	150人		○昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真をルート内巡回写真展として展示している。展示写真は一般国道241号など道路に関するものもある。	
	①おもてなしの質を整える	2)観光客を受け入れる環境を整える	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, Home Sweet Home, caffè kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●スタンブラー実施: 平成22年8月1日~10月31日 ●カフェミーティング実施: 平成22年4月21日・7月14日・12月7日	30人	A - 1	○H22年度は、外国人ドライブ観光客へのおもてなし向上をテーマに、外国語版ドライブマップやコミュニケーションボードの試行製作を行った。
			14	JR釧路駅での情報発信	観光交流部会	平成22年8月~12月	5人		○JR釧路駅構内に当該ルートで製作したパンフレットラックを設置し、シーニックに関連する広報物を設置した。
			15	釧路空港へのルートPR看板の設置	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	平成22年10月11日	6人		○釧路空港入口に、当該ルートメンバーが製作した、木製のルート周知と、来訪のおもてなしを行う看板を設置した。
	①地域の魅力(景観)をつなぎ感動ドライブコースの提供	3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, Home Sweet Home, caffè kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●スタンブラー実施: 平成22年8月1日~10月31日 ●カフェミーティング実施: 平成22年4月21日・7月14日・12月7日	30人	A - 1	○共通のパンフレットラックに、ルート内の観光情報やドライブ情報に関するパンフレットを設置するほか、定期的にカフェミーティングを開催し、カフェスタッフの目録で、おもてなしについて検討している。
			6	ドライブモニターツアーの実施(冬のしかが満喫ツアー)	ルート運営委員会	平成23年3月5日~6日	13人		○ドライブモニターツアーを実施し、ルートとして旅の提案の方向性について検討した。
①HP・各種広報誌等による情報提供	4)各種情報を伝える・蓄える	3	ルートHPの更新	情報広報部会	通年(随時)	地域ライター37人・年間約4000アクセス	A - 2	○地域住民がブログライターとなって旬な観光情報の発信を行った。各ブログライターが、個人の趣味や職域を活かした記事を更新している。HPアクセス数が減少傾向にあることから、検討が必要。	
		1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, Home Sweet Home, caffè kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●スタンブラー実施: 平成22年8月1日~10月31日 ●カフェミーティング実施: 平成22年4月21日・7月14日・12月7日	30人	A - 1	○共通のパンフレットラックに、ルート内の観光情報やドライブ情報に関するパンフレットを設置している。	
		1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, Home Sweet Home, caffè kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●スタンブラー実施: 平成22年8月1日~10月31日 ●カフェミーティング実施: 平成22年4月21日・7月14日・12月7日	30人	A - 1	○共通のパンフレットラックに、ルート内の観光情報やドライブ情報に関するパンフレットを設置している。	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄						2011/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
	②観光案内施設等による情報提供	14	JR釧路駅での情報発信	観光交流部会	平成22年8月～12月	5人		○JR釧路駅構内に当該ルートで製作したパンフレットを設置し、シーニックに関連する広報物を設置した。	
		15	釧路空港へのルートPR看板の設置	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	平成22年10月11日	6人		○釧路空港入口に、当該ルートメンバーが製作した、木製のルート周知と、来訪のもてなしを行う看板を設置した。	
	③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	3	ルートHPの更新	情報広報部会	通年(随時)	地域ライター37人・年間約4000アクセス	A - 2	○地域住民がプロライターとなって旬な観光情報の発信を行った。各プロライターが、個人の趣味や職域を活かした記事を更新している。HPアクセス数が減少傾向にあることから、検討が必要。	
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1)自然と共に生きる意識を育てる	①地域(こども達)への環境教育	5	弟子屈飛行場跡地での森づくり	景観まちづくり部会(Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクト)	平成22年10月17日	21人	A - 3	○H22年度は、内部関係者を中心に活動を行ったが、次年度以降は、地元小学校などと連携を進める予定である。
		②来訪者(観光客)へのインタプリテーション	6	ドライブモニターツアーの実施(冬のでしかが満喫ツアー)	ルート運営委員会	平成23年3月5日～6日	13人		○ドライブモニターツアー内で実施した、摩周湖外輪山のスノーシュー体験では、地元ガイドによる案内をうけ今後の方向性抽出にむけた、状況把握に繋がった。
	2)自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる	—	—	—	—	—	—	—
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, Home Sweet Home, caffè kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業:通年(一部冬期休業) ●スタンプラリー実施:平成22年8月1日～10月31日 ●カフェミーティング実施:平成22年4月21日・7月14日・12月7日	30人	A - 1	○シーニックカフェでは、代行植樹料金を含んだエコバッグの販売を行っており、エコバッグ売り上げの一部を、苗木代に充てている。
	5	弟子屈飛行場跡地での森づくり	5	弟子屈飛行場跡地での森づくり	景観まちづくり部会(Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクト)	平成22年10月17日	21人	A - 3	○弟子屈飛行場跡地での森づくり活動をH22年度より開始し、シーニックの森制度でのカーボンオフセットの森づくりだけでなく、飛行場跡地の自然再生の森づくりも目指している。
		3)循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, Home Sweet Home, caffè kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業:通年(一部冬期休業) ●スタンプラリー実施:平成22年8月1日～10月31日 ●カフェミーティング実施:平成22年4月21日・7月14日・12月7日	30人	A - 1
	②地域経済循環の仕組みを創る		1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, Home Sweet Home, caffè kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業:通年(一部冬期休業) ●スタンプラリー実施:平成22年8月1日～10月31日 ●カフェミーティング実施:平成22年4月21日・7月14日・12月7日	30人	A - 1	○ルート内4箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として様々な連携企画を行っており、地域経済巡回の仕組みとして発展する可能性がある。

# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：情報拠点シーニックカフェの連携(シーニックカフェプロジェクト)

【概要】 シーニックカフェプロジェクトでは、ルート内4箇所の民間店舗(カフェ)の連携による情報拠点運営し、ドライブや地域情報の発信を行っている。H22年度は、シーニックカフェミーティングにおいて、外国人ドライブ観光客への対応について検討を開始し、外国人向けのパンフレットやコミュニケーションツールの試行配布を行った。

【日時】 シーニックカフェミーティング(第9回4/21・第10回7/14・第11回12/7 13:00~15:00)

【場所】 第9回 阿寒湖まりむ館・第10回 900草原・第11回 中標津経済センター

【主催】 シーニックカフェプロジェクト

【参加人数】 シーニックカフェプロジェクト参加 15名・シーニックカフェ来場者 8400人(カフェ利用者累計)



外国人向けのパンフレット  
(移動距離マップ・ビギナーズドライブマップ)

試行作成したコミュニケーションツール

カフェミーティングの様子

# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：ルート情報の発信(情報広報部会)

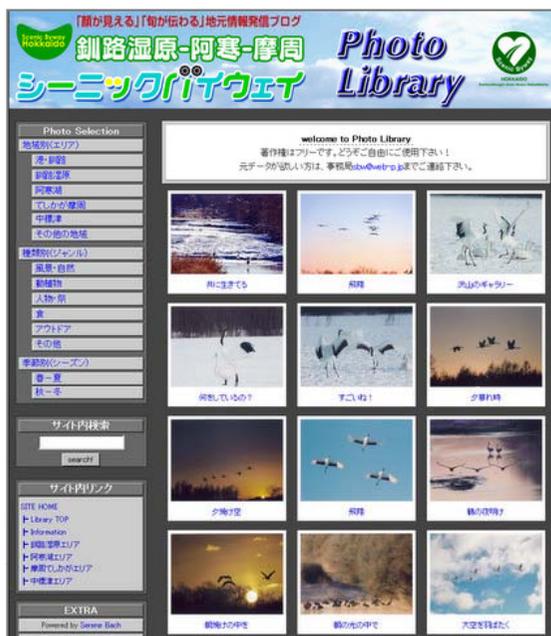
【概要】 情報広報部会では、地域住民がブログライターとなって、旬な観光情報の発信を行っている。H22年度は、ドライブ観光の基礎情報の充実を目指し、インフォメーションのリニューアルを行った。また、フォトライブラリーの内容の追加更新作業も併せて行い、ルート景観資源データの充実に繋げた。

【日時】 通年(ルートHP開設)・情報広報部会実施(9/22 13:00~16:00)

【場所】 <http://www.scenic946.jp/>・情報広報部会 会場(ルート事務局)

【主催】 情報広報部会

【参加人数】 ブログライター30名・情報広報部会参加5名



フォトライブラリーTOP



追加更新した写真  
(一部)



インフォメーションTOP

## ■リニューアルした 情報のカテゴリー分類

- ・おしらせ&ニュース
- ・ドライブ情報
- ・オススメ絶景ポイント
- ・今月の看板娘
- ・シーニックカフェ
- ・清流・湧水スポット
- ・Scenic Bywayコラム
- ・ひがし北海道レシピ
- ・Foreign language  
(英語・中文繁体・中文簡体・韓国語)
- ・About us

# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

*Clear Stream Scenic Byway*

活動名：弟子屈飛行場跡地での森づくり(景観まちづくり部会)

- 【概要】 景観まちづくり部会では、Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクトを立ち上げ、H22年度より弟子屈飛行場跡地での森づくりを行っている。地域の自生種などを植えながら、遊休地の自然再生を目指している。また、シーニックバイウェイ支援センターの「シーニックの森制度」への登録を予定し、制度内で推進しているカーボンオフセットの森づくりも同時に行っていく予定である。
- 【日時】 平成22年10月17日 9:30~14:00(プレ植樹会として第1回どんぐり植樹会を実施)
- 【場所】 弟子屈町飛行場跡地(一般国道241号沿)
- 【主催】 景観まちづくり部会 Clear Stream Scenic Forestプロジェクト・弟子屈エリア
- 【参加人数】 21名



参加メンバー



どんぐり拾い



種の選別



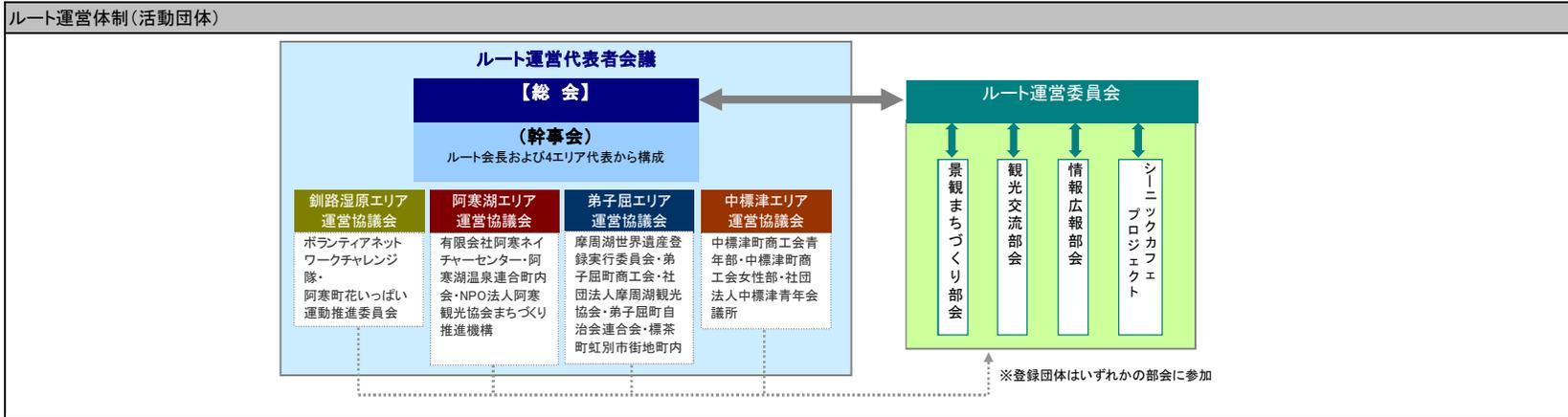
種まき



3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2011/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

<b>活動団体</b> 釧路湿原エリア: ボランティアネットワークチャレンジ隊・阿寒町花いっぱい運動推進委員会 阿寒湖エリア: NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、(有)阿寒ネイチャーセンター、阿寒湖温泉連合町内会 弟子屈エリア: 摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会、(社)摩周湖観光協会、弟子屈町自治会連合会、標茶町虹別市街町内会 中標津エリア: 中標津町商工会青年部、(社)中標津青年会議所、中標津町商工会 女性部 <b>&lt;全13団体&gt;</b>
---



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議			●6/22 (総会)										幹事会・運営委員会の定期的な開催の他、本年度は植樹活動も実施した。しかしながら、開催していない分科会もあり、次年度は積極的な開催を行いたい。
幹事会・運営委員会	●4/22 (合同)			●7/9 (合同)				●11/15 (合同)				●3/16 (合同)	
分科会	●4/21 カフェプロジェクト			●7/14 カフェプロジェクト		●9/22 情報広報部			●12/7 カフェプロジェクト				
実行委員会等							●10/17 景まち(植樹)					●3/5-6 モニターツアー	

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2011/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施			●6/22 (本会)										6月に本会を実施した。次年度以降も、積極的に開催を行いたい。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2011/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり<知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)					
	情報拠点シーニックカフェの連携への参加	平成22年4月21日・7月14日・12月7日	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町	・活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・ルート内4箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。 ・シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。	○情報拠点シーニックカフェの連携への参加、沿道花壇の植栽活動への参加、ルートHPの更新等、様々な当該ルート内で実施された地域活動に参加した。 ○来年度以降も、関係行政機関と連携を図り、積極的な活動参加およびサポートを進め、地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくりに繋げたい。	1
	沿道花壇の植栽活動への参加	平成22年6月(各団体個別実施)	釧路開発建設部	・弟子屈町内で実施した植栽活動では、釧路開発建設部弟子屈道路事務所の職員が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。		2
	ルートHPの更新	通年(随時)	情報広報部会	・地域住民がライターとなり、情報発信を行っているHPに、釧路開発建設部から4名がライターとして登録し、旬な情報を発信を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な情報発信を行うほか、関係自治体などにもライター登録をお願いし、充実した情報発信が行える体制づくりを進めたい。		3
	既存植樹活動への協力	平成22年5月16日	釧路開発建設部	・標茶町内で実施した既存植樹活動(虹別コロカムイ会シマフクロウの森づくり)に、釧路開発建設部から4名が参加し、活動団体等と積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、活動に参加し、意見交換を進めたい。		4
	弟子屈飛行場跡地での森づくりへの参加	平成22年10月17日	釧路開発建設部	・景観まちづくり部会で主催した植樹イベントに、釧路開発建設部から6名が参加し、活動団体等と積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、活動に参加し、意見交換を進めたい。		5
	ドライブモニターツアーへの参加	平成23年3月5日～6日	釧路開発建設部	・ルート運営委員会で開催した、ドライブモニターツアーに、釧路開発建設部から5名が参加し、スノーシューや蕎麦うち等を体験し、今後の実施の方向性について、積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も、継続して検討に参加し、意見交換を進めたい。		6
2) 食を知る・活かす						
	情報拠点シーニックカフェの連携への参加	平成22年4月21日・7月14日・12月7日	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町	・活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・ルート内4箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。 ・シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。	1	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2011/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
3)文化や歴史を知る・活かす	懐かシーニックパネル展「摩周湖ブルーコンサート」への協力	平成22年10月22日	弟子屈町	・摩周湖ブルーコンサートにて、懐かシーニックパネル展を、活動団体からの依頼をうけ、弟子屈町がサポートし実施した。 ・来年度以降も、パネル展実施の機会には、積極的な参加を行いたい。		11
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり<整える・つなぐ>	リレー清掃「中標津奉仕清掃」への参加	平成22年5月30日	釧路開発建設部・中標津町	・中標津町が主催した清掃活動に、釧路開発建設部中標津道路事務所の職員が参加し、中標津エリアの活動団体と積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。	○リレー清掃の参加や沿道花壇の植栽活動への参加等、様々な当該ルート内で実施された地域活動に参加した。 ○来年度以降も、関係行政機関と連携を図り、積極的な活動参加およびサポートを進め、競争力のある地域(ルート)づくりに繋げたい。	12
	リレー清掃「弟子屈エリア 摩周湖クリーンウォーク2010」への参加	平成22年6月5日	弟子屈町	・弟子屈町が主催した清掃活動に、釧路開発建設部から13名の職員が参加し、参加した活動団体と積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。		13
	沿道花壇の植栽活動への参加	平成22年6月(各団体個別実施)	釧路開発建設部	・弟子屈町内で実施した植栽活動では、釧路開発建設部弟子屈道路事務所の職員が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。		2
	阿寒-摩周キング・オブ・クリーンウォークへの参加	平成22年8月29日	釧路開発建設部	・国道241号阿寒横断道路で実施した清掃イベントに、釧路開発建設部から5名が参加し、沿道の清掃美化を進めると共に、活動団体と積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、活動に参加し、意見交換を進めたい。		14
	懐かシーニックパネル展「摩周湖ブルーコンサート」	平成22年10月22日	弟子屈町	・摩周湖ブルーコンサートにて、懐かシーニックパネル展を、活動団体からの依頼をうけ、弟子屈町がサポートし実施した。 ・来年度以降も、パネル展実施の機会には、積極的な参加を行いたい。		11
	2)観光客を受け入れる環境を整える	情報拠点シーニックカフェの連携への参加	平成22年4月21日・7月14日・12月7日	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町		・活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・ルート内4箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。 ・シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。
3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	情報拠点シーニックカフェの連携への参加	平成22年4月21日・7月14日・12月7日	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町	・活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・ルート内4箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。 ・シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。	1	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2011/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
		ドライブモニターツアーへの参加	平成23年3月5日～6日	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート運営委員会で主催した、ドライブモニターツアーに、釧路開発建設部から5名が参加し、スノーシューや蕎麦うち等を体験し、今後の実施の方向性について、積極的な意見交換を行った。</li> <li>・来年度以降も、継続して検討に参加し、意見交換を進めたい。</li> </ul>		6
	4)各種情報を伝える・蓄える	ルートHPの更新	通年(随時)	情報広報部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民がライターとなり、情報発信を行っているHPに、釧路開発建設部から4名がライターとして登録し、旬な情報を発信を行った。</li> <li>・来年度以降も引き続き、積極的な情報発信を行うほか、関係自治体などにもライター登録をお願いし、充実した情報発信が行える体制づくりを進めたい。</li> </ul>		3
		情報拠点シーニックカフェの連携	平成22年4月21日・7月14日・12月7日	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った。</li> <li>・ルート内4箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。</li> <li>・シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示を行った。</li> <li>・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。</li> </ul>		1
		ルートHPの更新	通年(随時)	情報広報部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民がライターとなり、情報発信を行っているHPに、釧路開発建設部から4名がライターとして登録し、旬な情報を発信を行った。</li> <li>・来年度以降も引き続き、積極的な情報発信を行うほか、関係自治体などにもライター登録をお願いし、充実した情報発信が行える体制づくりを進めたい。</li> </ul>		3
	③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1)自然と共に生きる意識を育てる					
		弟子屈飛行場跡地での森づくりへの参加	平成22年10月17日	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観まちづくり部会で主催した植樹イベントに、釧路開発建設部から6名が参加し、活動団体等と積極的な意見交換を行った。</li> <li>・来年度以降も引き続き、活動に参加し、意見交換を進めたい。</li> </ul>	○弟子屈飛行場跡地での森づくりへの参加やドライブモニターツアーへの参加等、様々な当該ルート内で実施された地域活動に参加した。	5
		ドライブモニターツアーへの参加	平成23年3月5日～6日	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート運営委員会で主催した、ドライブモニターツアーに、釧路開発建設部から5名が参加し、スノーシューや蕎麦うち等を体験し、今後の実施の方向性について、積極的な意見交換を行った。</li> <li>・来年度以降も、継続して検討に参加し、意見交換を進めたい。</li> </ul>	○来年度以降も、関係行政機関と連携を図り、積極的な活動参加およびサポートを進め、持続可能な地域(ルート)づくりに繋げたい。	6
		2)自然を保全・活用する仕組みを創る					
		情報拠点シーニックカフェの連携への参加	平成22年4月21日・7月14日・12月7日	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った。</li> <li>・ルート内4箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。</li> <li>・シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示を行った。</li> <li>・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。</li> </ul>		1

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2011/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成22年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
3)循環型社会のビジネスモデルを育てる	弟子屈飛行場跡地での森づくりへの参加	平成22年10月17日	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観まちづくり部会で主催した植樹イベントに、釧路開発建設部から6名が参加し、活動団体等と積極的な意見交換を行った。</li> <li>・来年度以降も引き続き、活動に参加し、意見交換を進めたい。</li> </ul>		5
	情報拠点シーニックカフェの連携への参加	平成22年4月21日・7月14日・12月7日	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った。</li> <li>・ルート内4箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。</li> <li>・シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示を行った。</li> <li>・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。</li> </ul>		1

5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2011/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウエイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開や人材の育成等によるルート活動の基盤の強化に努められたい。</p>	<p><b>○情報発信やPR活動等によるブランドの形成について</b>                      当該ルートで実施しているシーニックカフェでは、同じ規格のパンフレットラックを設置し、シーニック関連情報および当該ルート内市町村の観光パンフレット等を設置し、情報発信を行っている。また、「シーニックカフェスタンプラリー」もH19年度より継続して実施し、情報発信やPR活動によるブランドの形成を進めている。なお、本年からは、外国人ドライブ観光客への情報発信も検討し、外国語向けのドライブフリーマップの試行製作も実施している。                      また、ルートHPIにおいても、37名の地域ライターによる情報発信が行われており、地域ライターの趣味や職域を活かした個性的な情報発信による、PR活動が行われている。</p> <p><b>○地域ビジネスの展開や人材の育成等について</b>                      シーニックカフェでは、定期的にシーニックカフェミーティングを開催し、当該ルート内4箇所のカフェスタンプによる検討を行っている。参加者は、20～30代のスタッフが多く、観光客へのおもてなしについて検討することで、人材の育成に繋がっており、今後の地域ビジネスの展開も期待できる。                      弟子屈飛行場跡地の森づくりは、今年度から開始した事業であり、まだ試行的な活動を行っている段階だが、今後、地元小学校や幼稚園と連携した森づくりを構想しており、子どもたちの環境教育を兼ねた森づくりの仕組みを検討している。</p>	

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2011/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

平成21年度活動報告への助言	平成22年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウエイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開や人材の育成等によるルート活動の基盤の強化に努められたい。</p>	<p><b>○情報発信やPR活動等によるブランド形成について</b>                      シーニックカフェの取り組みやルートHPなど、当該ルートでの情報発信やPR活動等に係わる取り組みについて、行政連絡会議においても、積極的に活動に参加し、サポートを行っている。ブランド形成にむけ、新しい地域情報を把握しながら、取り組みの方向性について検討を進めている。</p> <p><b>○地域ビジネスの展開や人材の育成等について</b>                      シーニックカフェや弟子屈飛行場跡地での森づくりなど、当該ルートでの地域ビジネスや人材育成に係わる取り組みについて、行政連絡会議においても、積極的に活動に参加し、サポートを行っている。                      また、釧路開発建設部内においては、異動等で人が代わるときに、新任者だけではなく、前任者も活動に引き込み、活動の継続性及び活動への理解度を深めている。</p>	